


JICA 草の根技術協力事業－草の根パートナー型 小学校体育科指導書作成支援プロジェクト

－教育の質とアクセスの向上プログラム－

目標	カンボジア国内の小学校において、体育科の質を向上させる。
実施背景	(1) カンボジア国内には、体育科について国が定めた指針が無い。 (2) 国内のほとんどの教員は実施すべき授業内容や授業内容の意義等の理論を理解していない。 (3) そのため、学校での体育科の授業は単調であったり、不適切なスケジュールであったりする。 (4) 体育科は、基本的な生活態度を身につける、身体機能を向上させる、仲間との協力関係を築く、楽しみを作るなど、子どもの情操を育み健全な身体を培うために必要な科目である。 (5) 体育科教育を向上させるために、体育科の指導要領（国の指針）と、指導書（教員用指導マニュアル）を作成し、指導に関わる人材育成を図ろうとする。
活動概要	(1) 現状把握： 体力測定、教員の質や運動場の広さ・施設などの環境調査を行い、基本的な条件を調べる。 (2) ワークショップ： ワークショップを開き、指導書に沿った授業方法等について説明する。 (3) 行政指導： 指導要領は、教育省によって、カンボジア国内全ての小学校に配布される。 (4) モデル授業： モデル校において、指導書に基づいた授業を行い、それをモニタリングして、指導書を用いた授業についての提言を教育省に提出する。 (5) 政策提言： 体育科の指導要領を改訂した後、指導書を作成し、教育省に提出する。
活動地	プノンペン、バットアンバン、シアヌークビル、コンポンチャム、コンポンチュナン、スヴァイリエン、クラティエ、ラタナキリ
連携 NGO	 (特活)ハート・オブ・ゴールド（以下 HG）【筑波大学連携】【OIPIAO】【岡山県】【ENJJ】
連携省庁	教育省スポーツ局
連携の経緯	(1) 2001年から2005年まで、HGはカンボジア各地で体育の巡回指導会を継続的に行ってきた。2005年12月に、スポーツ・体育の重要性を認識したカンボジア教育相はHGへ体育の指導マニュアル作成を依頼した。 (2) HGは体育の専門知識はあるものの、全国へ普及する指導マニュアルを作成した経験が無く、国全体に関わる事業を展開し、他分野（理数科等）での類似プロジェクトを行っていたJICAに協力を依頼した。 (3) カンボジア政府からJICAに提出される協力の要請書では、体育科授業の改善は高い優先順位が付けられる可能性は低いが、カンボジア教育省から依頼があったことから、JICAはHGと連携し、本プロジェクトを始めることとした。



写真：体力測定の様子



写真：ワークショップの様子